

令和7年度全国地域リーダー養成塾修了者研修会 開催案内

1 目 的 修了者対象の事後研修を実施することにより、自己啓発や情報交換を図り、地域リーダーとしての資質向上を支援する。今年度は特別講義を除き、現地開催とする。

2 日 時 令和7年10月2日(木) 13:30～13:50 受付
14:00～17:30 分科会
17:30～19:30 交流会
令和7年10月3日(金) 9:30～11:30 特別講義

3 場 所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL(03)3261-9921

4 対 象 リーダー塾修了生、第37期塾生

5 分科会

(1) 分科会数 7分科会

(2) 人 数 各分科会10～20名程度
※希望者が多い場合は調整いたします。

(3) テーマ及び講師 別紙のとおり

6 特別講義

(1) 講師 天津木村 氏



(2) プロフィール 吉本興業所属の芸人。2021年4月から岩手朝日テレビ「Go!Go!いわて」MC就任を機に岩手に移住。岩手県「いわて暮らしアンバサダー」をはじめ、日本一広い県岩手の魅力を内外に広く発信中。

(3) テーマ 調整中

7 申込方法 参加申込書に必要事項を記入し、メール・FAX・郵送等で事務局へ提出してください。

8 交 流 会

参加者負担 3, 0 0 0 円

※参加希望者には連絡文書送付(8 月上旬予定)の際に、振込方法を
通知いたします。

8 宿 泊

宿泊施設は各自で手配をお願いいたします。

別紙 分科会のテーマ及び講師（敬称略）

分科会	テ　　マ　　及　　び　　講　　師	
第1分科会	テーマ 講　師 パネリスト メッセージ	歴史と文化を活かしたまちづくり—城端のこころみから学ぶ— 西村　幸夫　（塾長、國學院大學観光まちづくり学部長・教授、東京大学名誉教授） 山口　誠（一般社団法人 城端景観・文化保全機構　理事） 歴史と文化を活かしたまちづくりの具体例を、富山県南砺市城端で民家の再生や東京・神楽坂との交流などを通して、奮闘されている民間の活動家、山口誠氏をお招きして、その想いやネットワークの広がり、活動の展開を語っていただき、官民協働のなかでの今後のまちづくりのあり方を、参加者のみなさんとともに展望したいと思います。
第2分科会	テーマ 講　師 パネリスト メッセージ	地域社会・集落から考える新しいまちづくり 岡崎　昌之（元主任講師、法政大学名誉教授） 菊池　新一　（認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク会長） 地域リーダーに不可欠な要素は、地域の内外に多様な人脈やネットワークを持っていることです。困った時、さらなる飛躍の時に、このネットワークが機能します。リーダー塾はネットワーク形成の絶好の機会です。共に高みを目指して苦悩し、切磋琢磨する過程をとおしてネットワークは形成されるのです。今回の研修会も卒塾者、現役塾生の価値あるネットワーク形成に資することを期待します。
第3分科会	テーマ 講　師 パネリスト メッセージ	観光振興と宿泊税のあり方を考える 田村　秀　（主任講師、長野県立大学教授） 河合　一成（阿智村役場　リニア・まちづくり課　まちづくり企画係長） 海外からの観光客が増加し、観光地がにぎわう一方で、オーバーツーリズムも問題となっています。そのような中で、法定外目的税の宿泊税を導入する動きが全国各地で出ています。分科会では、長野県内で早い段階から宿泊税の議論を進めてきた阿智村の河合さんを招き、阿智村と軽井沢町で宿泊税の検討に携わった田村とともに、観光振興と宿泊税のあり方について考えていきます。
第4分科会	テーマ 講　師 パネリスト メッセージ	デザインからみる地方鉄道の可能性 米田　誠司（元主任講師、國學院大學教授） 松岡　哲也（四国旅客鉄道株式会社　営業部　ものがたり列車推進室長　兼お客様サービス推進室　デザインプロジェクト担当室長） みなさん、観光列車に乗ったことがありますか。JR 四国は2014年に「伊予灘ものがたり」をデビューさせ、翌2015年には日本経済新聞の観光列車ランキングで第1位を獲得しました。そのデザイナーとアドバイザーが魅力を解き明かします。また地域とつながるデザイン手法や展開をみながら、地方鉄道の可能性についても議論したいと思います。

分科会	テ ー マ 及 び 講 師	
第 5 分科会	テ ー マ 講 師 パ ー ト メ ッ セ ー ジ	調整中 土山 希美枝（主任講師、法政大学教授） 調整中 調整中
第 6 分科会	テ ー マ 講 師 パ ー ト メ ッ セ ー ジ	公務と実務を往来して地域づくりを考える ～インハウス・スーパーバイザーの仕事～（仮） 野原 卓（主任講師、横浜国立大学大学院准教授） 高尾 忠志（一般社団法人 地域力創造デザインセンター 代表理事） よりよい地域づくりを推進するために、公民連携が叫ばれて久しいですが、それぞれの立場でそれぞれの役割を全うすることも大切です。行政の立場でありながら、専門性も持って具体的なプロジェクトのマネジメントを遂行する新しい立場として、「インハウス・スーパーバイザー」が注目されています。今回は、長崎市や東村山市で活躍する講師（高尾忠志さん）とともに公務と実務を兼ね備えた働き方・関わり方について考えます。
第 7 分科会	テ ー マ 講 師 パ ー ト メ ッ セ ー ジ	社会人のスキルを地域・社会課題の解決に活かす「プロボノ」の可能性 岡司 直也（主任講師、法政大学教授） 岡本祥公子（認定 NPO 法人サービスグラント 共同代表） 今年は、「プロボノ」の現場をコーディネートする認定 NPO 法人サービスグラントの岡本祥公子（さよこ）さんをお迎えします。サービスグラントは、社会的活動を行うソーシャルセクターの課題に対し、職業上の知識や経験を持つ多彩な人々がサポートする「プロボノ」の運営や普及に挑戦しています。社会人が農山村や地方の現場に関わり始める入り口ともなるプロボノの実践活動から、その可能性や要点を考えます。